



# きた

2016  
5  
月号



## 大宮盆栽村物語

盆栽 歳時記 vol.2

大宮盆栽村には90年以上の歴史があります。時代が移り変わる中、盆栽の名を世界に広め、現在は“BONSAI”のまちとして知られています。今月号では、盆栽村の歴史を紹介します。



大正12（1923）年におきた関東大震災をきっかけに東京の盆栽業者が、盆栽づくりに適した広い土地、新鮮な水と空気を求めて大宮の地に移り住み、大正14年に、“大宮盆栽村”が誕生しました。（九霞園所蔵）



当時、盆栽村に住む者たちにより、①盆栽を10鉢以上持つ、②門戸を開放する、③2階建ては建てない、④塀は生け垣とする協約がつけられました。現在の落ち着いたある景観はこの頃に形づけられました。（九霞園所蔵）



かえで通り

盆栽村の道路は、ほぼ碁盤の目状につくられ、道路幅も広く、開拓した先人たちの先見性がしのべれます。それらの道は、植えられた木の名前が付いており、“盆栽四季の道”と呼ばれています。



清香園

現在6軒の盆栽園があり、それぞれ特色ある盆栽を手掛け、四季折々の樹の姿は見る人を楽しませてくれます。また、近接する大宮盆栽美術館では、世界的な盆栽の名品や盆栽に関わる美術品などを展示しています。

第8回 世界盆栽大会  
in さいたま

テーマ「盆栽、～次の100年へ～」

開催日 平成29年4月27日（休）～30日（日）  
メイン会場 さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮  
サブ会場 武蔵一宮氷川神社、さいたま市大宮盆栽美術館、大宮盆栽村

